

「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

1. 実施主体	
本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名	仙台市教育委員会
2. 現状及び課題	
地域内でのキャリア教育に関する現状	本市では、仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」を教育施策の重点事項として推進している。この教育の中学校における核となるのが「職場体験活動」であり、市内全ての中学校2年生が3～5日間、地域の事業所等にて活動している。
地域内でのキャリア教育に関する課題	職場体験活動においては、生徒が活動する場となる事業所の確保が大切であるが、必要数を確保することに苦勞している学校が多い。特に生徒数が多かったり、住宅地など周辺に事業所が限られたりしている学校は、事業所の確保が難しいものとなっている。そのような学校と事業所とのマッチングが本市におけるキャリア教育の大きな課題となっている。
3. 委託内容に対する取組	
(1) 学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営	
地域の推進体制 (図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)	<div style="text-align: center;"> <div data-bbox="560 1155 1209 1305" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>仙台自分づくり教育研究会(既設) 会長 山口哲男 委員計6名(学識者, 企業関係者) 仙台自分づくり教育事業全般に対しご意見をいただき、 施策の推進にいかす</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="384 1417 882 1619" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>仙台自分づくり教育調査研究部会(既設) 座長 菊地武剋 委員計4名(学校関係者) 職場体験活動に係る生徒対象ならびに卒業生対象のアンケート結果を分析し、職場体験活動の推進にいかす</p> </div> <div data-bbox="954 1417 1417 1597" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>職場体験活動推進協議会(新設) 商工会等からの派遣委員計20名 職場体験活動における学校と事業所とのマッチングを図るために、必要な事柄について協議する</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="954 1675 1417 1877" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;"> <p>職場体験活動事業所相談窓口(新設) ・商工会等の担当者 ・職場体験活動ディレクター 学校からの要望に応じ、職場体験受入事業所を紹介する</p> </div> </div> <div data-bbox="496 1910 1337 1977" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>事務局 仙台市教育委員会学びの連携推進室</p> </div> </div>

	団体名	役割
協議会の構成	宮城県中小企業団体中央会	職場体験推進協議会委員
	仙台商工会議所	職場体験推進協議会委員
	日専連仙台	職場体験推進協議会委員
	みやぎ仙台商工会	職場体験推進協議会委員
	宮城県中小企業家同友会	職場体験推進協議会委員
	仙台青年会議所	職場体験推進協議会委員
目標	<p>仙台自分づくり教育における職場体験活動の、特に事業所の確保についての現状を把握し、学校と事業所とのマッチングを図るための方策や、事業所に生徒受入を喚起する配布物等について協議し、この活動を円滑に進めるためのシステムづくりを行う。</p>	
方針	<p>学校と事業所とのマッチングを円滑に進めるために、「職場体験活動事業所相談窓口」の設置や、職場体験で依頼したい内容についてまとめ、平成25年度の職場体験の様子や受入企業を紹介した「職場体験パンフレット」の作成について検討する。</p>	
事業の自立的かつ発展的な運営体制	<p>仙台市教育委員会学びの連携推進室が事務局となり、各商工会との連携を継続していく。協議会については、一定の成果が得られた段階で継続の有無について精査する。</p>	
(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進		
①支援を提案する支援提供者を開拓すること		
<p>既設の仙台自分づくり教育応援団への参加を前述の「職場体験パンフレット」や市webページ、市政だより、市政ラジオ放送等で呼びかけ、参加者と依頼出来る内容(職業講話、職場体験受入)についてのリストを作成する。</p>		
②支援に関する提案を学校に提示すること。		
<p>キャリア教育推進のための教師用手引き「仙台自分づくり教育推進の手引き」を作成し、社会人講師による職業講話など、実際に行われた企業の支援の様子等を記載し、市内全小中学校に配布する。</p>		
③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。		
<p>仙台自分づくり教育応援団のリストをもとに、各学校の希望に応じて、事務局(市教委学びの連携推進室)が社会人講師を派遣する。</p>		
(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進		
①インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。		
<p>商工会等の事務担当者からなる「職場体験活動推進協議会」にて、事業所組合など、職場を紹介・斡旋してくれる組織について広く情報提供をいただく。 今年度の職場体験活動を紹介する「職場体験パンフレット」を作成し、各学校が地域の事業所に職場体験活動の受入依頼に行く際の説明資料としての活用を図る。</p>		

②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。

キャリア教育推進のための教師用手引き「仙台自分づくり教育推進の手引き」を作成し、インターンシップや職場体験で実際に行われた企業の支援の様子等を記載し、市内全小中学校に配布する。

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

各学校で職場体験活動の受入事業所が見つからない場合に、事業所の紹介等の相談を行う「職場体験活動事業所相談窓口」を設置し、学校からの相談を受け付ける。

(4)その他の取組

4. 計画・スケジュール

実施時期	実施内容
平成25年11月	推進の手引き、職場体験パンフレットの素案作成開始
平成25年12月	第1回職場体験活動推進協議会の開催 職場体験活動相談窓口連絡網の整備
平成26年2月	第2回職場体験活動推進協議会の開催
平成26年3月	推進の手引き、職場体験パンフレット入稿
平成26年4月	市立中学校および事業所に対し職場体験パンフレットの配布 市内小・中学校に対し自分づくり教育推進の手引きの配布 職場体験相談窓口の運用開始

5. 協議会の成果と課題

※計画段階で示していた検証方法等を踏まえ、客観的・具体的に記載すること。 ※成果を踏まえた今後の課題についてもあわせて記載すること。	<ul style="list-style-type: none">・職場体験活動推進協議会(2回開催)を設置することにより、商工会や事業所組合等とのつながりと、各校の求めに応じて事業所を紹介していただけるシステムづくり(職場体験活動相談窓口)を行った。※職場体験活動事業所相談窓口の運営状況および、マッチング数の検証については、相談窓口が次年度4月以降の開設となるため、それ以降に実施する。・各事業所の職場体験活動に対する認識を高めることや、各中学校の担当者が生徒の受入依頼に行く際、職場体験活動の意義や教育的効果、実際に依頼したいこと等についての説明がより分かりやすいものとする中で、受入の一層の促進につなげるために職場体験パンフレットを10,000部作成した。内容については、職場体験推進協議会にて検討し、事業所の立場から、受入の参考となる内容について意見を聴取し、パンフレットに盛り込んだ。※受け入れ事業所数の検証は、配布が4月以降となるため、それ以降に実施する。・社会人講師の派遣等、企業の支援について情報提供し、企業と学校の新たな連携につなげるために「仙台自分づくり教育推進の手引き」を1400部作成した。配布は4月以降であるが、社会人講師による職業講話の開催校数は約120校を見込んでいる。
---	--